

- ★ rNPV法、類似取引比較法、科学的評価を組み合わせた複合的な事業性評価！
★ 説得力のある「成功確率（PoS）」を設定するロジックとは？

セミナーNo.603103

Live配信
または
アーカイブ配信

開発早期段階での医薬品の

導入／導出・投資の際の事業性評価

- 日 時：2026年3月11日(水) 10:30～16:00
●会場：Zoomを使用したLive配信
※アーカイブ配信は3/23～4/2に実施
- 聴講料：1名につき 55,000円（消費税込、資料付）
〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円（税込）〕
〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。〕
- 講 師： エス・アール・エー サービス 代表 野澤 徹 氏

第1部：イントロダクション ～早期評価の"実"と心構え～

- Early Stage評価とLate Stage評価の決定的な違い
・情報の非対称性と欠如：データがない中でどう「仮定」を置く
・Time Value of Money：上市までの期間（10年以上）がもたらす割引率のインパクト
・「rNPVは万能ではない」：計算結果がマイナスでもGoサインが出る戦略的理由
 - 評価の全体像（Valuation Triangulation）
・3つの視点：
 - 科学的評価（Scientific）：創薬としてのポテンシャル
 - 事業性評価（Commercial）：rNPVによる収益予測
 - 市場比較（Market）：類似取引事例（Comparables）との整合性
- ・価値（Valuation）と価格（Price）の峻別：
「価値」は論理、「価格」は交渉

第2部：科学的リスクを数値化する

～Science to Numbers～

- Translational Science（橋渡し研究）の評価
・「死の谷」を超えるロジック：
動物モデルのデータはヒトに外挿できるか？
・MOA（作用機序）の検証：
新規メカニズムのリスクとFirst-in-Classのプレミアム
・バイオマーカーの有無：
臨床試験の成功確率（PoS）を劇的に変える要素
- Target Product Profile（TPP）の策定戦略
・ゴールからの逆算：10年後の医療現場で選ばれるための「Must Have」と「Nice to Have」
・TPPの動的変化：
開発段階（Phase）が進むにつれてTPPをどう修正するか
- 成功確率（PoS: Probability of Success）の精緻化
・ベンチマークデータの活用：
疾患領域別・モダリティ別の平均成功確率（統計データ）
・アセット固有の調整（Adjustment）：
 - 安全性リスク（毒性データ）による減点
 - 有効性シグナルによる加算
 - モダリティ（抗体、核酸、細胞治療）による特異的リスク

第3部：市場予測と事業シナリオの構築

- 「10年後の市場」を予測する
・疫学データの読み解き：
患者数、診断率、治療実施率のファネル分析
・競合環境（Landscape）の分析：
 - 将来の標準治療（SoC）：
既存薬ではなく、開発中の競合品と比較する
 - 参入順位（Order of Entry）：
2番手、3番手になった時のシェア減衰カーブ

- 売上収益（Revenue）のモデリング
・薬価（Price）の予見性：
 - 日米欧の薬価算定ルールの違いとトレンド
 - HTA（医療技術評価）/費用対効果の影響
- ピーク売上と独占期間：
特許切れ（LOE）のタイミングと特許延長戦略

第4部：定量的評価の実践 ～rNPVと類似取引比較～

- rNPV（リスク調整後正味現在価値）モデルの構築
・コストと期間の仮定：
早期段階特有の「手戻り」や「予備費」の考え方
・割引率（Discount Rate）の設定：
 - Big Pharma（低コスト）vs Biotech（高コスト）の資本コスト格差
 - 開発ステージに応じた割引率の調整（Step-down方式）は必要か？
- 終価（Terminal Value）：早期評価において無視できないウエイトを占める永続価値
・マーケット・アプローチ（類似取引比較法）の活用
・Deal Comps（類似ディール）の抽出：
適切なベンチマークを見つけるための検索条件（適応症、Phase、モダリティ）
・評価の補正：
「5年前のディール」と「現在」の市況の違いをどう調整するか
・rNPVとの乖離（Gap）分析：
理論値（rNPV）と相場（Market）がズレた時の解釈と説明ロジック

第5部：不確実性を管理するディール構造と投資判断

- 早期段階特有のディール構造（Deal Structuring）
・フロントローディング vs バックローディング：
リスク分担のための支払い設計
・オプション契約（Option Deals）：
 - 「PoC確認後にライセンス権を行使する」仕組み
 - Option FeeとExercise Feeのバランス
- 共同研究開発（Co-development）：
コスト負担と利益配分のバリエーション
- 意思決定のための感度分析（Sensitivity Analysis）
・Key Value Driversの特定：
価値を最も大きく変動させる変数は何か？（トルネードチャート）
・損益分岐点分析：薬価がいくら下がるか投資回収不能になるか
・Exit戦略の多様性：
自社販売、Phase 2での導出、M&Aのシナリオ比較

第6部：まとめ・質疑応答

- Key Takeaways：本日の要点振り返り
- 実務チェックリストの共有
- Q&A

「開発早期事業性評価」セミナー申込書

（Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください）

☐ Live配信（No.603103） 開催日：3／11

☐ アーカイブ配信（No.603154） 配信期間：3／23～4／2

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX（03-5436-7745）にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
所属部課		氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 定員になり次第、申込みは締切となります